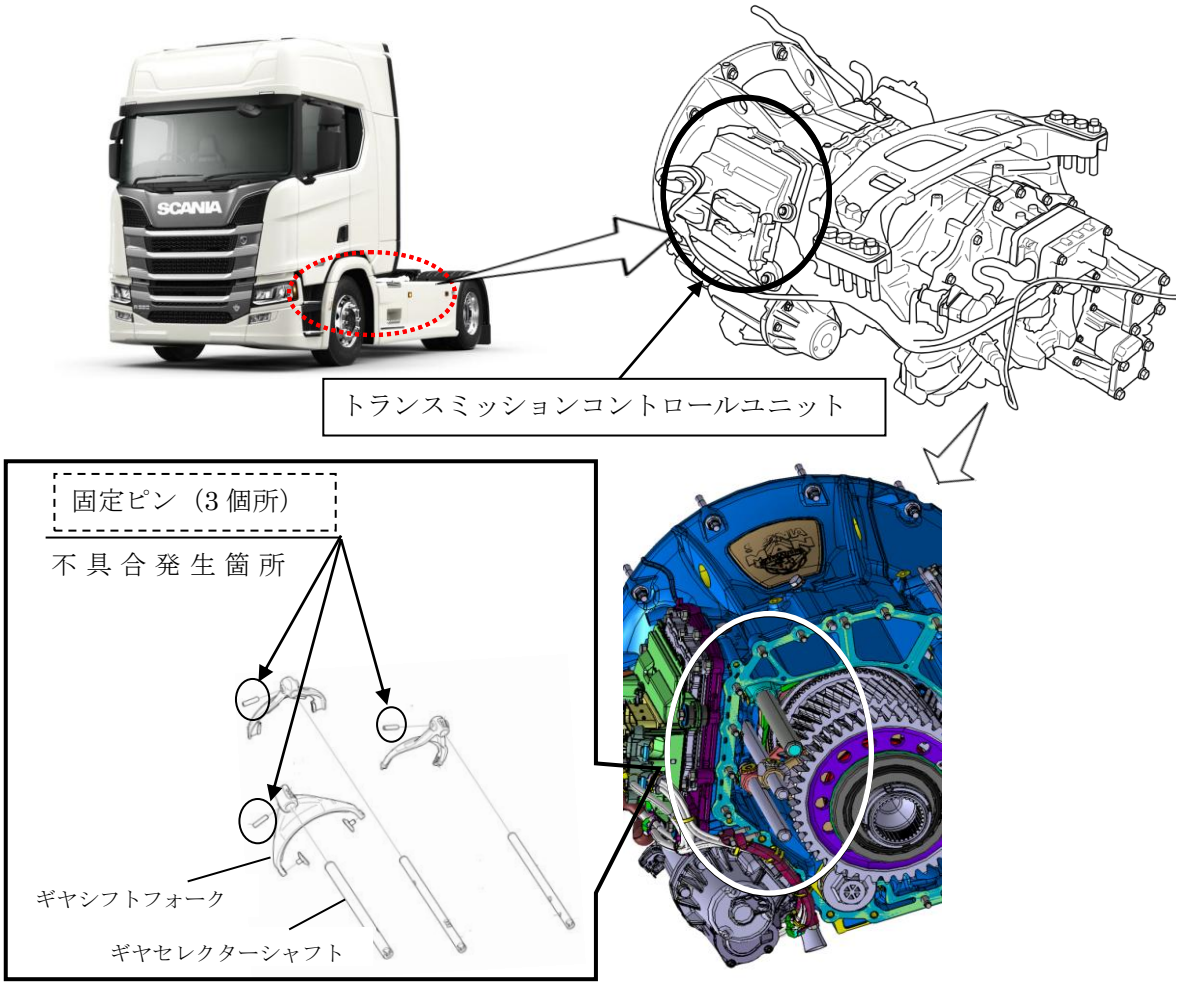
改　善　箇　所　説　明　図



不具合の内容

動力伝達装置のギヤボックス内部において、ギヤセレクターシャフトにギヤシフトフォークを固定するピンの設計検討が不十分なため、高負荷状態でのギヤシフト操作の繰り返しにより、当該固定ピンが緩むことがある。そのため、変速時間の増加、変速ギヤへの係合不良等の変速異常が発生し、そのまま使用を続けると、ギヤシフト操作を行っても適切に切り替わらず、実際のギヤ位置とインストルメントクラスターに表示されるギヤ位置が異なるおそれがある。

改善の内容

①全車両、実際のギヤ位置とインストルメントクラスター上の表示が異なった場合に警告を発するようにトランスミッションコントロールユニットを対策仕様に書き換える。

②全使用者に当該不具合の概要を周知するとともに、変速時間の増加、変速ギヤへの係合不良等の変速異常が発生した場合には速やかに入庫を促し、当該不具合に関する警告が発せられている場合には固定ピンを対策品に交換する。

注：□ はプログラムを書き換える部品を示す。

□ は警告が発せられた場合に交換する部品を示す。

識別：車体番号打刻プレートの余白部分に黄色のペイントを塗布する。